

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 **レオン自動機株式会社**

上場取引所 東証一部

コード番号 6272

URL <http://www.rheon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 啓二

TEL (028)665-1111

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 羽石 是之

四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,421	△8.5	△493	—	△466	—	△205	—
20年3月期第1四半期	3,738	—	△109	—	△77	—	△111	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△7 30	—
20年3月期第1四半期	△3 96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	22,635	14,291	63.1	506 63
20年3月期	22,359	14,383	64.3	509 81

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 14,291百万円 20年3月期 14,383百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3 50	—	4 00	7 50
21年3月期	—	—	—	—	7 50
21年3月期(予想)	—	3 50	—	4 00	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無：無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	9,700	4.4	450	△33.5	440	△33.6	150	△40.1	5 31
通 期	19,500	5.8	1,000	△0.8	950	3.3	450	21.2	15 95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無：無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更：有
② ①以外の変更：無
(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年3月期第1四半期 | 28,392,000株 | 20年3月期 | 28,392,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年3月期第1四半期 | 182,641株 | 20年3月期 | 177,627株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第1四半期 | 28,212,356株 | 20年3月期第1四半期 | 28,232,487株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、上記予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する定性的情報は、3 ページをご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における経済環境は、米国のサブプライムローン問題による世界的な金融リスクの高まりや、原油高、原材料高などで景気の減速感が強まる状況となっております。

当社グループが市場とする食品業界は、食の安全性や衛生面に対する要請の高まりや、低価格、簡便性、高品質、健康志向の増大などの消費者ニーズの多様化、環境問題への対応、原材料の高騰による影響など多くの問題を抱えております。

食品加工機械製造販売事業については、売上高は2,526百万円（対前年同四半期395百万円減）となりました。

食品製造販売事業については、売上高は898百万円（対前年同四半期47百万円増）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の連結業績につきましては、売上高は3,421百万円（対前年同四半期317百万円減）、営業損失は493百万円（対前年同四半期383百万円増）、経常損失は466百万円（対前年同四半期389百万円増）、四半期純損失は205百万円（対前年同四半期94百万円増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、610百万円減少し、9,082百万円となりました。これは、売掛金の回収等により、受取手形及び売掛金が1,199百万円減少したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、886百万円増加し、13,553百万円となりました。これは、建物及び構築物が61百万円、上河内工場建設により、建設仮勘定が542百万円、投資有価証券が132百万円それぞれ増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、276百万円増加し、22,635百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、382百万円増加し、5,949百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、14百万円減少し、2,394百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、368百万円増加し、8,344百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、92百万円減少し、14,291百万円となりました。これは、主として利益剰余金が318百万円減少したことなどによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の売上高は概ね当初予想通りに推移しております。例年、第2四半期、第4四半期の季節変動でピークを迎える売上拡大をもって達成予定でありますので、平成20年5月15日発表の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。これによる税金等調整前四半期純損失は、87百万円増加しております。

③ リース取引に関する会計基準の適用(借主側)

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間から所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上することにしております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

④ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：千円)	
	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,576,921	1,858,093
受取手形及び売掛金	1,810,679	3,009,934
商品	1,075,600	897,895
製品	1,298,159	1,095,639
半製品	662,436	731,085
原材料	347,620	352,032
仕掛品	973,022	705,332
貯蔵品	111,262	134,081
繰延税金資産	682,432	341,109
その他	580,213	607,184
貸倒引当金	△35,726	△39,354
流動資産合計	9,082,622	9,693,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,522,769	10,335,560
減価償却累計額	△6,497,940	△6,372,419
建物及び構築物(純額)	4,024,828	3,963,140
機械装置及び運搬具	6,292,226	6,056,161
減価償却累計額	△5,135,356	△4,940,954
機械装置及び運搬具(純額)	1,156,869	1,115,207
工具、器具及び備品	1,713,228	1,690,857
減価償却累計額	△1,535,836	△1,513,137
工具、器具及び備品(純額)	177,391	177,719
その他	23,302	-
減価償却累計額	△707	-
その他(純額)	22,595	-
土地	5,546,696	5,516,458
建設仮勘定	724,614	181,694
有形固定資産合計	11,652,996	10,954,220

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
無形固定資産		
のれん	104,956	113,281
その他	59,701	51,381
無形固定資産合計	164,657	164,663
投資その他の資産		
投資有価証券	748,544	615,591
長期貸付金	174,762	121,118
繰延税金資産	811,494	796,348
その他	176,124	182,404
貸倒引当金	△175,273	△150,118
投資損失引当金	—	△17,485
投資その他の資産合計	1,735,652	1,547,860
固定資産合計	13,553,306	12,666,743
資産合計	22,635,929	22,359,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	663,938	667,386
短期借入金	2,803,685	3,031,927
未払法人税等	28,943	21,868
賞与引当金	334,533	600,310
役員賞与引当金	4,275	23,100
その他	2,114,171	1,222,386
流動負債合計	5,949,547	5,566,979
固定負債		
長期借入金	364,700	411,400
繰延税金負債	139,597	137,848
再評価に係る繰延税金負債	840,241	840,241
退職給付引当金	894,992	882,643
その他	155,263	136,721
固定負債合計	2,394,794	2,408,854
負債合計	8,344,341	7,975,834

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,060,750	7,060,750
利益剰余金	5,749,854	6,068,522
自己株式	△63,622	△61,893
株主資本合計	20,098,731	20,419,128
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,471	3,499
土地再評価差額金	△5,215,780	△5,215,780
為替換算調整勘定	△611,833	△822,903
評価・換算差額等合計	△5,807,142	△6,035,184
純資産合計	14,291,588	14,383,944
負債純資産合計	22,635,929	22,359,778

(2) 四半期連結損益計算書

		(単位:千円)
		当第1四半期連結累計期間
		(自 平成20年4月1日
		至 平成20年6月30日)
売上高		3,421,330
売上原価		1,792,540
売上総利益		1,628,789
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費		158,617
荷造運搬費		92,573
貸倒引当金繰入額		401
販売手数料		85,923
給料及び手当		637,861
賞与引当金繰入額		163,115
役員賞与引当金繰入額		4,275
退職給付費用		73,218
旅費及び交通費		116,514
減価償却費		57,610
研究開発費		211,298
その他		520,652
販売費及び一般管理費合計		2,122,060
営業損失(△)		△493,270
営業外収益		
受取利息		5,628
受取配当金		6,058
物品売却益		12,279
その他		42,349
営業外収益合計		66,315
営業外費用		
支払利息		10,772
貸倒引当金繰入額		28,285
その他		557
営業外費用合計		39,615
経常損失(△)		△466,569

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
特別利益	
固定資産売却益	99
貸倒引当金戻入額	1,391
投資損失引当金戻入額	17,485
特別利益合計	18,975
特別損失	
固定資産売却損	148
固定資産除却損	973
たな卸資産評価損	87,580
特別損失合計	88,702
税金等調整前四半期純損失(△)	△536,296
法人税、住民税及び事業税	43,744
法人税等調整額	△374,154
法人税等合計	△330,410
四半期純損失(△)	△205,886

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△536,296
減価償却費	142,879
のれん償却額	8,325
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20,844
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△268,491
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,348
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,825
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	△17,485
受取利息及び受取配当金	△11,686
支払利息	10,772
有形固定資産売却損益 (△は益)	49
有形固定資産除却損	973
たな卸資産評価損	87,580
売上債権の増減額 (△は増加)	1,248,449
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△560,832
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	46,738
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△1,294
未払費用の増減額 (△は減少)	554,273
仕入債務の増減額 (△は減少)	△56,259
未払消費税等の増減額 (△は減少)	22,668
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	322,216
その他	△5,706
小計	1,001,242
利息及び配当金の受取額	10,134
利息の支払額	△24,600
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△46,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	940,202

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△610,453
有形固定資産の売却による収入	133
無形固定資産の取得による支出	△13,970
投資有価証券の取得による支出	△104,832
貸付けによる支出	△53,863
貸付金の回収による収入	220
その他	8,994
投資活動によるキャッシュ・フロー	△773,771
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△340,000
長期借入れによる収入	100
長期借入金の返済による支出	△54,970
自己株式の取得による支出	△1,729
配当金の支払額	△99,812
財務活動によるキャッシュ・フロー	△496,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	48,809
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△281,172
現金及び現金同等物の期首残高	1,858,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,576,921

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	食品加工機械 製造販売事業 (千円)	食品製造販売 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	2,523,368	897,961	3,421,330	—	3,421,330
(2)セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,821	60	2,882	(2,882)	—
計	2,526,190	898,022	3,424,212	(2,882)	3,421,330
営業利益又は営業損失(△)	△194,008	13,005	△181,003	(312,267)	△493,270

(注) 1 事業区分の方法

当社および連結子会社の取扱い商品および製品をその種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づき判別し、食品加工機械製造販売事業と食品製造販売事業にセグメンテーションしております。

2 各事業区分の主要商品および製品

事業区分	売上区分	主要商品および製品
食品加工機械 製造販売事業	食品成形機	万能自動包あん機（N209型・卓上包あん機）、火星入（CN010型・CN500型・CN600型・KN500型・KN550型・WN055型・WN056型・WN066型）、ロボットEP
	製パンライン等	ストレスフリーV ₄ システム、ストレスフリーVMシステム、V ₄ フリーデパイダー、ツインデパイダー、フリーデパイダーVs、ADライン、リングエクストルーダーライン、マルチコエクストルーダーライン、MMライン、HMライン、EZテーブルライン、コンパクトEZテーブル、マルチヘッドインクラスターライン、USライン、ミニスチーマー、コンパクトパンナー
	修理その他	部品、オプション、技術指導料、修理工賃
	仕入商品	オーブン、ミキサー、包装機等の他社よりの仕入商品
食品製造販売 事業	食品	クロワッサン、デニッシュペストリー、クッキー類 天然酵母パン種

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	ヨーロッパ (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	1,454,114	1,016,709	829,935	120,569	3,421,330	—	3,421,330
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	889,209	—	193	—	889,403	(889,403)	—
計	2,343,324	1,016,709	830,129	120,569	4,310,733	(889,403)	3,421,330
営業利益又は 営業損失(△)	△152,573	7,457	64,943	5,723	△74,449	(418,821)	△493,270

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) ヨーロッパ……………ドイツ

(3) アジア……………台湾

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	北米・南米	ヨーロッパ	アジア・オセアニア	計
I 海外売上高 (千円)	1,016,709	829,935	120,569	1,967,215
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	3,421,330
III 連結売上高に占める海外 売上高の割合 (%)	29.7	24.3	3.5	57.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、ブラジル

(2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、イタリア、イギリス、ロシア

(3) アジア・オセアニア……………台湾、中国、韓国、オーストラリア

3 海外売上高は、海外連結子会社における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
当社は平成20年7月15日の労使間合意により、平成20年10月1日に、適格退職年金制度から確定給付企業年金制度および確定拠出企業型年金制度に移行することとなりました。 これに伴い第2四半期連結会計期間において特別損失400百万円（概算）を計上する見込みであります。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額
I 売上高	3,738,338
II 売上原価	1,855,338
売上総利益	1,883,000
III 販売費及び一般管理費	1,992,851
営業損失(△)	△109,850
IV 営業外収益	
1 受取利息	10,113
2 受取配当金	5,659
3 廃品処分収入	13,364
4 為替差益	21,623
5 その他	33,399
営業外収益合計	84,160
V 営業外費用	
1 支払利息	42,187
2 たな卸資産廃却損	4,208
3 その他	5,454
営業外費用合計	51,850
経常損失(△)	△77,540
VI 特別利益	
1 貸倒引当金戻入益	7,697
2 固定資産売却益	39
特別利益合計	7,737
VII 特別損失	
1 固定資産売却損	462
2 固定資産除却損	9,514
3 その他	30
特別損失合計	10,006
税金等調整前四半期純損失(△)	△79,809
法人税、住民税及び事業税	42,670
法人税等調整額	△10,773
四半期純損失(△)	△111,706